

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

教育施設課長 井手久武

電話番号

0852-22-5909

事務事業の名称	高等学校校舎等整備事業	
目的	(1) 対象	県立学校の児童・生徒・職員
	(2) 意図	安全・安心な教育環境で学校生活を過ごせるようにする。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 県立学校の児童・生徒・職員の安全を確保するため、屋内運動場等の一定規模の吊り天井やバスケットゴール、照明器具等の非構造部材の耐震対策（落下防止対策）を実施する。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	非構造部材の耐震化率	目標値	28.2	41.1	71.8	100.0	箇所
	式・定義	耐震対策実施箇所数÷全対象棟数	取組目標値					
			実績値	16.9				
			達成率	—	—	—	—	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	2,713,169	822,895
うち一般財源 (千円)	1,537,943	775,407

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<p>地震発生時に重大な人的被害を与える恐れのある一定規模の吊り天井やバスケットゴール、照明器具等の落下防止対策をできるだけ早期に完了する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一定規模の吊り天井の要対策箇所は、9箇所 バスケットゴールの要対策箇所は、43箇所 照明等の要対策箇所は、72箇所

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 一定規模の吊り天井は、要対策9箇所をすべて完了 バスケットゴールは、要対策43箇所のうち3箇所が完了 照明器具等は、要対策72箇所のうち、9箇所が完了

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <p>屋内運動場等の非構造部材のうち、バスケットゴールや照明器具の耐震対策（落下防止対策）が必要な箇所が残っている。</p>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 全体的に対策が必要な箇所数が多い。 対策の内容も箇所によって異なっており、実施内容の調整が必要。 対策の実施にあたっては、学校の授業や部活動との調整を図る必要がある。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <p>文部科学省の示す基準や指導等を踏まえ、適切に対応するために、実施する対策の内容に優先順位をつけ、学校教育活動等との調整を図りながら、計画的に事業実施を進める必要がある。</p>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<p>屋内運動場等のバスケットゴール、照明器具等の耐震対策について、点検・調査結果や予算等を踏まえた実施計画に基づき、順次対策を講じていく。</p>
--

9. 追加評価（任意記載）

<p>課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。</p> <p>上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。</p>
